

AT32PWM 基板の使用の注意点 (2011/01/12)

・使用する USB ケーブルについて

本基板に USB デバイスを接続して USB ホスト機能を使用するには TypA メス・miniA オスの変換ケーブルが必要になります。基板ご購入時に 1 個ケーブルを付属させていただきます。

また、基板プログラムの書き換え、USB デバイス機能を利用した CDC 機能を使用する場合は TypeA オス・miniB オスの miniUSB ケーブルが必要になります。このケーブルは別途ご準備ください。家電量販店等で販売されています。

・電源電圧の降下とバッテリーについて

モータの急な正転、逆転の切り替えによって、一時的に大きな電流が流れると電源電圧が下がります。このとき、電源電圧が 5.8[V]以下になると内蔵 5V スイッチングレギュレータが正常に動作しなくなります。特に電源として単三電池 6 本でご使用になる場合は、安価なマンガン電池、アルカリ電池等をご使用になるとこの現象が顕著に現れます。単三電池でご使用になる場合は、電圧降下が少ないニッケル水素電池(SANYO エネルーブや Panasonic 充電式エボルタ)を推奨します。